

訴訟費用等臨時措置法案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

○訴訟費用等臨時措置法案

○會社等臨時措置法案

○經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 子爵保科 正昭君
副委員長 男爵奧田 剛郎君

公爵島津 忠重君
侯爵佐竹 義春君
伯爵柳原 義光君
子爵秋元 春朝君
子爵仙石 久英君
小山 松吉君
山田 三良君
光行 次郎君
木村 尚達君
内田 重成君
仁井田益太郎君
男爵伊江 朝助君
白根 竹介君
男爵本多 政樹君
次田大三郎君
結城 安次君
山隈 康君

昭和十九年一月二十一日(金曜日)午後二時七分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ委員會ヲ開催致シマス、司法大臣ノ御説明ヲ願フコトニ致シマスガ、三案ハ別々ニ御説明ヲ願フコトニ取計ヒマス、御承知ヲ願ヒマス
○國務大臣(岩村通世君) 只今議題トナリ

第四部第三類

訴訟費用等臨時措置法案特別委員會會議事速記録第一號

昭和十九年一月二十一日

貴族院

マシタ三案ノ中訴訟費用等臨時措置法案ニ付キマシテ、先ヅ提案ノ理由ヲ御説明申上ガマス、本會議ニ於キマシテ既ニ申述ベマシタ如ク、現在行ハレテ居リマスル民事及刑事ノ訴訟費用、執達吏ノ手数料並ニ執達吏ニ對スル補助金等ノ額ハ、何レモ二十數年前ニ改メラレタル儘、一回ノ改正モナク今日ニ及ンデ居ルノデアリマシテ、其ノ間著シク經濟情勢ヲ異ニ致シテ居リマスル爲ニ、甚ダ實情ニ副ハヌモノガ多ク、之ヲ現在ノ儘ニ放置致シマスル時ハ、訴訟關係人及執達吏ニ對シ多大ノ不利不便ヲ強用スル結果トナリ、延イテハ決戰態勢下、民刑訴訟制度並ニ執達吏制度ノ運用上重大ナル支障ヲ來シ、從テ戰力増強ノ上ニモ好マシカラザル影響ヲ與フルコトナキヲ保シ難イノデアリマス、仍テ今回は等訴訟費用、手数料等ニ關シ、戰時下必要ナル臨時ノ特例ヲ設ケマシテ、其ノ調整ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、此ノ特例ノ内容ニ付テ一言致シタイト存ズルノデアリマスルガ、其ノ要點ハ次ノ二點ニ存スルノデゴザイマス、即チ第一ハ訴訟費用、手数料等ノ増額デアリマス、申ス迄モナク裁判上ノ證人、鑑定人ハ國民ノ義務トシテ裁判所ニ出頭シ、裁判上重要ナル事項ニ付テ證言又ハ鑑定ヲ爲スモノデアリ、執達吏ハ國家ヨリ官吏ニ準ズルモノトシテノ待遇ヲ與ヘラレテ、裁判ノ執行ヲ擔當スル機關デアリマスルガ、是等ニ對スル日當、旅費、宿泊料等ハ現在極メテ少額デアリマシテ、到底其ノ實費ヲスラ償

フニ足リナイ状態デアリマスルノデ、之ヲ相當額増加致シマスルト共ニ、訴訟書類ノ書記料、執達吏ノ手数料等ヲモ併セテ増額セムトスルモノデアリマス、第二ハ執達吏ニ對スル補助金ノ増額デアリマス、執達吏ハ國家ヨリ定額ノ俸給ヲ受クルコトナク、依頼人カラ手数料ヲ徴收スルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、國家ハ手数料ガ一定ノ額ニ達シナイ時ニノミ其ノ不足額ヲ補給シテ大正十年以來、一年六百圓ト定メラレテ居ルノデアリマスルガ、最近執達吏役場ノ費用等著シク騰貴致シテ居リマスル爲ニ、此ノ額ガ低額ニ失スルコトニナリマシタカラ、茲ニ其ノ額ヲ相當増加スルコトガ出來ルヤウニ致シタイト存ズルノデアリマス、次ニ會社等臨時措置法案ニ付御説明致シマス、政府ニ於キマシテハ、大東亞戰爭ノ完勝ヲ期シ、國內態勢ヲ強化シ、國力ヲ擧ゲテ戰力ノ増強ニ集中スル爲、夙ニ行政事務ノ簡素強化ヲ圖リ、著々其ノ實績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスルガ、民間ニ於ケル會社其ノ他ノ法人企業ニ付キマシテモ、能フ限り手續等ヲ簡易ニシ、以テ勞力、費用、資材等ノ節約ヲ期シ、其ノ餘力ハ全部之ヲ戰力増強ニ振向ケル必要ノアリマスコトハ申ス迄モアリマセス、之ガ爲司法省ニ於キマシテハ商法其ノ他法人ニ關スル諸法令ヲ研究調査シ、會社、株主、債券者等ノ利害得失ヲ十分考慮致シマシテ、戰時下特ニ簡素化スルヲ相當ト認メマシタ事項ニ付、本法ニ於テ

大東亞戰爭中ノ特例ヲ置カムトスル次第デアリマス、其ノ要點ハ大體次ノ五點デアリマス、第一ハ比較的規模ノ小サイ株式會社ノ公告方法ノ緩和規定ヲ置カムトスルノデアリマス、株式會社ノ公告ハ官報又ハ時事ニ關スル事項ヲ掲載スル日刊新聞紙ニ掲ゲルコトヲ要スルノデアリマスガ、戰時ニ於ケル用紙節約ノ爲、官報モ新聞紙モ共ニ紙面ガ狹隘トナツテ參リマシタノデ、小額資本ノ株式會社ハ隨意商法ニ規定スル方法以外ノ公告方法ヲ定メルコトヲ得ルモノト致サムトスルノデアリマス、第二ハ株主總會ノ簡易化ノ規定ヲ設ケムトスルノデアリマス、株主多數ヲ擁スル株式會社ノ株主總會ノ召集ニハ、多クノ手数料費用ヲ要スル實情デアリマスルノデ、株主ノ員數ノ非常ニ多イ株式會社ニ於キマシテハ、公告ヲ以テ總會ノ召集ノ通知ニ代フルコトヲ得ルモノトシ、此ノ場合ニ於キマシテ定款ノ變更其ノ他ノ特別決議ヲ要スル事項ノ決議ニ付、定足數ノ緩和ヲ致サムトスルノデアリマシテ、是等ハ當該會社ノ定款ニ其ノ旨ヲ定メタ場合ニ限ルノデアリマス、此ノ外ニ一般ノ株式會社ニ於キマシテ、株主總會ノ決議ヲ要スル事項ニシテ株主ノ利害ニ重大ナル影響ナキモノニ付キマシテハ、定款ニ規定スルコトニ依リ、總會ノ決議ニ依ラザルコトヲ得ルモノト致スルノデアリマシテ、是等ノ事項ハ勅令ヲ以テ指定スルコトニ相成ツテ居リマス、第三ハ、多額ノ社債ヲ發行スル株式會社ノ社債ノ登記ヲ簡略ニセムトスルノデア

リマス、社債ノ登記ハ相當複雜詳細デアリマスガ、監督ガ十分行ハレテ居リマス銀行、會社ノ或モノニ付キマシテハ、之ヲ思ヒ切り簡單ニシ、事務處理ノ圓滑ヲ期シタイト存ズルデアリマス、第四ハ、會社ノ爲スベキ公告、財産目錄其ノ他ノ書類ノ謄本及抄本ノ交付竝ニ信託證書其ノ他ノ書類ノ謄本ノ備ヘ置キニ關シテハ、機密ノ保持其ノ他公益上ノ理由ニ依リ勅令ヲ以テ特例ヲ設ケムトスルデアリマス、第五ハ、會社ノ合併及資本減少ノ場合、債權者ニ對シテ爲スベキ催告等ニ付、之ヲ簡略ニセムトスルモノデアリマス、以上申述ベマシタ第二乃至第五ノ點ハ、必要ニ應ジ營團、金庫、組合等ニ準用シテ、會社以外ノ或種ノ法人ニ付キマシテモ、必要ナル限度ニ於テ手續等ノ簡素強力化ヲ圖ラムトスル次第デゴザイマス、次ニ經濟關係則ノ整備ニ關スル法律案ニ付御説明申上ゲマス、今ヤ戦局誠ニ重大ナル秋ニ當リマシテ、益々經濟統制ノ圓滑ナル遂行ヲ期シテ參リマスルコトハ、刻下喫緊ノ要務デアリマス、而シテ之ガ爲ニハ經濟統制ノ遂行上重大ナル支障ヲ及シマスル經濟犯罪ノ防遏ニ力ヲ致スベキハ勿論ノコトデアリマスルガ、一方ニ於キマシテハ經濟統制ノ運用ノ中核ヲ爲ス官吏其ノ他ノ公務員竝ニ其ノ運用ノ實際ヲ擔當スル經濟團體ノ役員ノ綱紀ノ一層ノ振肅ヲ圖リマスルト共ニ、經濟ノ統制ノ運用ニ關スル官廳又ハ經濟團體ノ重要ナル秘密ヲ漏泄スル等ノ行爲ニ付キマシテモ、必要ナル刑法的措置ヲ講ズルノ要アリト存ズルデアリマス、政府ト致シマシテハ、豫テ是等ノ點ニ深キ關心ヲ持ツテ居タ所デアリマシテ、公務員ノ瀆職ニ關スル處罰規定ノ整備ニ付キ

マシテハ、去ル第八十三回帝國議會ノ御協賛ヲ得マシタ戰時刑事特別法中改正法律ニ依リマシテ、既ニ其ノ實施ヲ見タ所デアリマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテモ、曩ニ本會議ノ席上申述ベマシタ司法省內ノ經濟關係罰則調査委員會ニ諮問シテ、銳意之ガ成案ヲ得ルコトニ努力致シテ參リマシタ結果、茲ニ右委員會ノ答申ニ基キ、且經濟統制進展ノ實情ヲモ慎重ニ考慮致シマシテ、時局下眞ニ已ムヲ得ザル範圍ノ經濟關係罰則ノ整備ヲ行ハムトスルモノデアリマス、本法案ノ骨子ハ之ヲ要約シテ申上ゲマスレバ、次ノ四點ニナルデアリマス、第一ハ經濟團體ノ役員ノ瀆職ニ關スル處罰規定ヲ整備シ、其ノ刑ヲ加重スルコト共ニ、之ガ統一ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、本法案ハ經濟團體ノソレノ性質、職能等ニ鑑ミ、瀆職ニ關スル處罰ノ規定ヲ適當ニ整備統一致シマスルコト共ニ、刑ノ加重ヲモ行ヒ、併セテ此ノ種ノ規定ノ不備トセラレテ居リマシタ所謂經營會社及ビ代行機關ノ瀆職行爲ニ付之ガ處罰規定ヲ新設セムトスルモノデアリマス、本法案第一條乃至第五條及第七條ガ即チ、之ニ該當スルノデアリマシテ、第一條ハ國家總動員法第十八條第一項若シクハ第三項ノ規定ニ依リ、設立セラレマシタ統制會其ノ他ノ重要事業團體、營團及金庫等ガ、公的色彩頗ル濃厚ナル點ニ著目シ、是等ノ經濟團體ノ役員ハ罰則ノ適用ニ付テハ總テ之ヲ公務員ト看做シ、刑法瀆職罪等ノ規定ノ適用アルモノト致シタノデアリマス、第二條ハ所謂國策會社及經濟統制法令ニ依リ統制若シクハ統制ノ爲ニスル經營ヲ爲ス會社、若シクハ組合等ガ、國策事業ヲ經營シ、又ハ經濟統制ノ遂行上重要ナル地位

ヲ占ムル點ニ鑑ミ、是等經濟團體ノ役員ノ瀆職行爲ニ付、必要ナル處罰ヲ爲サムトスルモノデアリマス、第三條ハ第二條ニ揭グル役員ノ所謂事前收賄及事後收賄ニ關スル規定、第四條ハ賄賂ノ沒收及追徵ニ關スル規定、第五條ハ贈賄罪ニ關スル規定デアリマス、第七條ハ所謂代行機關ニ付從來ノ法規ノ不備ヲ補ヒ、統制事務若シクハ統制ノ爲ニスル經營事務ヲ代行スル者ヲ當該經濟團體ノ職員ト看做スコトニ依リ、本法案ノ瀆職罪及秘密漏泄罪ノ成立アルモノト爲サムトスル規定デアリマス、第二ハ經濟ノ統制ニ關スル重要ナル秘密ノ漏泄等ヲ防遏スル爲、必要ナル處罰規定ヲ新設セムトスルモノデアリマス、經濟ノ統制ニ關スル秘密ノ保護ニ付キマシテハ、軍機及國家機密等ノ保護ニ比較致シマスルト、不備ノ存スルヲ免レナイ實情ニ在ルノデアリマス、即チ第六條ハ之ガ不備ヲ補ハムトスルモノデアリマシテ、其ノ趣旨ハ公務員若シクハ公務員タリシ者、又ハ勅令ヲ以テ定ムル經濟團體ノ役員若シクハ役員タリシ者ガ、自己又ハ第三者ノ利益ヲ圖リ、經濟ノ統制ニ關スル官廳又ハ經濟團體ノ重要ナル秘密ニシテ、職務上知得シタルモノヲ漏泄又ハ竊用スル行爲ヲ爲シタル場合ニ、之ヲ處罰セムトスルニアルデアリマス、第三ハ、秘密漏泄罪等ニ關スル日本證券取引所法第八十五條及第八十七條竝ニ外國爲替管理法第十四條ノ規定ニ付、夫々相當ナル刑ノ加重ヲ行ヒ、他ノ同種ノ刑罰トノ均衡ヲ得シムルト共ニ、「漏洩」ナル用語ヲ「漏泄」ト改ムルコトニ依リ、用語ヲ統一ヲ爲サムトスルモノデアリマス、即チ第十條及第十一條方之ニ該當スルノデア

リマス、第四ハ、以上ノ措置ニ伴ヒ、關係法律ノ條文ノ整理ヲ爲サムトスルモノデアリマシテ、第十二條及第二十八條方之ニ該當スルノデアリマス、以上三法案ノ内容ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタガ、何卒慎重御審議ノ上何レモ御可決アラムコトヲ切望致シマス、尙細カイ點ニ付キマシテハ御質問ニ付キマシテ御答へ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵保科正昭君) 委員諸君ニ申上ゲマスガ、本日ハ丁度大臣モ此處ニ御出席ヲ願ツテ居リマスノゾ、引續キマシテ三案ノ全般ニ互リマシテ、概括的ノ御質問ガゴザイマスレバ、此ノ機會ニ願ヒタイト存ジマス

○内田重成君 是カラ引續イテ御質問ヲ願フト云フコトデアリマスガ、私ハ本日御配付ヲ受ケマシタ參考資料トシテ、極メテ重要ナル、有益ナル資料ヲ頂戴致シマシテ有難ク感ズルノデアリマス、尙希クバ三案中、就中會社等臨時措置法案ノ中ニハ勅令事項トナツテ居ルモノガ多イデアリマシタガ、其ノ勅令案ノ、未ダ正確ナル御成案デナクトモ宜イデアリマスガ、大體御見込ニナツテ居リマス、勅令案ノ文書ニサレタモノガオアリデアアルカト考ヘマス、ソレヲ戴キタイト考ヘルノデアリマス、其ノ點ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、

○政府委員(大森洪太君) 只今ノ御要求ニ對シマシテ、勅令案ノ具體的成案ハマダ出來テ居リマセスケレドモ、司法省デ斯克モ致シタイト云フ筋書ノヤウナモノナラバ何時デモ提出致シマス、右ノ程度デ御諒承願ヒタイト存ジマス

○内田重成君 ソレデ結構デアリマス

○山隈康君 本日ハ一應此ノ程度デ散會ヲ願ヒタイ、尙参考書等ニ依テ十分調査シテ質問致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵保科正昭君) 御諮リ致シマス、只今委員ノ山隈君カラ参考書類モ頂戴シタコトデアリマスノデ、篤ト調べテカラ又御質問ヲ致サレル方々モオアリト思ヒマスノデ、今日ハ此ノ程度デ散會シタラ如何カト云フ御話ガゴザイマシタガ、諸君ニ於カレマシテモ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵保科正昭君) 御異議ナイト致シマシタナラバ、明日午前十時開會致シマス、何分御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、然ラバ今日ハ是ニテ散會致シマス、午後二時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵保科 正昭君
副委員長 男爵奥田 剛郎君
委員

公爵島津 忠重君
侯爵佐竹 義春君
伯爵柳原 義光君
子爵仙石 久英君
小山 松吉君
光行 次郎君
内田 重成君
男爵本多 政樹君
山隈 康君

國務大臣

司法大臣 岩村 通世君

政府委員

司法次官 大森 洪太君
司法省民事局長 齋藤 直一君

司法省刑事局長 池田 克君
司法省刑政局長 正木 亮君
司法書記官 石田 壽君

昭和十九年一月二十一日印刷

昭和十九年一月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局